



第六十二回神宮式年遷宮記念
遷宮で結ぶ人の輪 心の輪

目 次

府長再任の挨拶	2
平成二十四年度神社実務研修会報告	3
一都七県神社連合会総会報告	6
関東地区女子神職研修会報告	6
神棚奉斎普及のための教化事業報告	7
府務日誌抄	9
第六十二回神宮式年遷宮 遷御の儀日時御治定 ならびに諸祭儀・行事日時選定について	10
「神主さんと平和を祈ろう!」実施報告	11

埼玉神社廳報

第204号

発行 埼玉県神社庁
さいたま市大宮区高鼻町1-407
電話048(643)3542
編集庁報室
印 刷 ㈱アサヒコミュニケーションズ



遷宮まで半年に迫った内宮新殿 平成25年4月18日庁報室撮影

府長再任の挨拶



中山高嶺

去る三月十一日、埼玉県神社庁協議員会が開催され、府役員の任期満了に伴う改選が行われました。その席上で、私と竹本、押田二人の副府長共々、再任されました。また、新役員も選任され、三期目の任務を務めさせて頂くことになりました。

役員一同、これまで以上に事業に邁進する所存でございます。引き続き、神職並びに総代の皆様方の大なる御支援御協力をお願い申し上げます。

さらに、埼玉県神社氏子総代連合会につきましては、平成十六年より九年間、会長をお務めいただいておりました井上久様が、このたび御勇退されることとなりました。神宮大麻増頒布や総代研修会の開始等、総代の意識向上のため積極的にお尽くし戴いたことに感謝申し上げます。また、新たに会長に選任されました大野光政様には、今後の御活躍を期待しております。

さて、式年遷宮の御事につきましては、御

玉県神社庁事務局も順調に進み、このたび、遷御の日開催され、府役員の任期満了に伴う改選が行われました。その席上で、私と竹本、押田二人の副府長共々、再任されました。また、新役員も選任され、三期目の任务を務めさせて頂くことになりました。

役員一同、これまで以上に事業に邁進する所存でございます。引き続き、神職並びに総代の皆様方の大なる御支援御協力をお願い申し上げます。

さらに、埼玉県神社氏子総代連合会につきましては、平成十六年より九年間、会長をお務めいただいておりました井上久様が、このたび御勇退されることとなりました。神宮大麻増頒布運動につきましても、御遷宮に合わせて神宮に対する一般の関心が高まりのある本年こそ好機と捉え、本宗奉賛委員会を中心として教化部教化委員会をはじめ関係団体と共に強化を図つて参りたいと考えております。

また、懸案となつております支部再編につきましては、支部による神職数の格差が生じ、支部の運営においても支障をきたす事案

造営工事も順調に進み、このたび、遷御の日時を天皇陛下より、内宮十月二日、外宮十月五日と御定めされました。

ここに至ります遷宮の募財活動におきましては、就任以来、神社庁方針の第一に掲げておりました、当初六億三千万円の目標額に対して、結果、八億四千万円を超える募財を集めることができました。厳しい経済状況の中にも拘わらず、故川本宜彦本部長の下、県内二千余社の神職並びに総代各位の大なる御恩賜を賜り、完遂に至りますことに、衷心より篤く御礼申し上げます。

併せて取り組んで参りました神宮大麻増頒布運動につきましても、御遷宮に合わせて神宮に対する一般の関心が高まりのある本年こそ好機と捉え、本宗奉賛委員会を中心として教化部教化委員会をはじめ関係団体と共に強化を図つて参りたいと考えております。

以上、今期の神社庁の取り組みに対し、関係各位においても、更なる協力を切に願うものであります。

また、懸案となつております支部再編につきましては、支部による神職数の格差が生じ、支部の運営においても支障をきたす事案

形を変えて、均等な形で支部の運営をおこなつて頂きたいと考えております。喫緊の問題となつてゐることから、これに対しては真剣に取り組む所存であります。

また、府舎の老朽化に伴う新府舎建設につきましては、これまでにも皆様方より、ご意見ご要望が寄せられ、歴代府長に亘つての懸案となつておりました。幸いにも漸く大筋で用地の目処がつく運びとなりそうです。神社

庁におきましてもこれまで建設費等の積み立てをしておりますが、正式に決定致しました折りには、関係各様の皆様からのご負担を仰ぐこととなると存しますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

更には、神社庁の活動の一翼を担つております教化委員会に關しましては、昨年、教化委員会機構再編委員会の答申を受け、神社庁協議員会において教化委員会規程及び、教化委員会規程内規が改定されました。これに基づき、これまでの部会制も見直されることになり、新たに選任される教化委員長以下、委員の方々には、これまで以上活発に、活動いただけることと期待しております。

平成二十四年度 神社実務研修会報告

神社実務部

二月十九日、川越水川神社の水川会館において、神社実務研修会を開催した。



本研修では、主題を「神社における管理上の諸問題」、副題を「望まれる地域・近隣住民とのコミュニケーションとは」とし、神社における様々な管理上の問題の内、地域・近隣住民とのコミュニケーションをどの様にとればよいのかを考えると共に、トラブルが発生した場合の解決のため、段階的に理解し、行動してゆく手法について研修した。今日は、関心のある総代にも参加を呼びかけたことから、九十五名の参加者があった。

講師として、神社庁事務局に寄せられる具体的なクレームや対応について、担当者の立場から神社庁の武田淳録事。それを受けた形で、専門家の立場から、クレームに発展させないコミュニケーションの取り方や、クレーム対応について、社団法人日本産業訓練協会の石井美江、府川亮一のお二人にお話を頂いた。

【神社におけるクレームの現状と課題】

神社庁録事 武田 淳

神社庁には、様々なクレームが寄せられます。先ず、そのような電話を受けた時は、いきなり謝りてしまします。クレームを頂いた場合には、現状をよく把握し、その上で対応するよう心掛けております。「不快な思いをさせてしまつたことに関しては申し訳ございません。現状を調

いたしまして、またご報告申し上げます」という対応をとつております。

神社では、最近、クレームは記録に取るようにしております。パソコンにシートを作りまして、どういう電話があつて、どういう対応をしたかというものを作成して残しております。

「共生のコミュニケーション」～クレームに発展させないために～

(社)日本産業訓練協会講師 石井美江

クレームを発生させずに、



お客様に満足して戴くとはどういうことかについてお話しさせて戴きます。神社におけるお客様とは、氏子さんや、お寺に参拝・祈願に来られた人だけではない

次に、神職に関するクレームも最近増えております。その内容は、言動や対応不適に関するものが多くあります。また、装束や普段の身嗜みについての改善求めること指摘も多く、神職も接客の意識、多くの見られており、といふ意識を持つ対応が望まれています。参拝には様々な方がいらして苦慮なさつて

いるとは思いますが、神職各自が意識した改善や対策をお願いしたいと思います。

その他、責任役員や総代に関するクレームというのもござります。兼務社では、普段この方々が神社を守られていることから、先程の神職と同様に言動や対応についてのクレームが寄せられます。この他、地域トラブルが背景にあり、責任役員に不手際があった際にクレームとして神社庁に連絡が来る事もあり

最後に、暴力団や悪質なクレーマーからの不当要求といった事例も発生しております。「このお店来ないわ」で済みますが、逃げら

当要求防止責任者講習」を受講することが出来ます。最寄りの警察署にお問い合わせ下さい。神社には顧問弁護士、顧問税理士も居ますので、何かお困り事やご相談事がありま

したら、遠慮なくご相談いただきたいと思

ます。(後略)

れないもの、避けられないものには、「何とかしてよ」と、クレームになってしまいます。

一地域住民の私が思う神社とは、おもてなしの心でいつも温かく迎えてくれ、神社に行くと静寂と掃き清められた境内の中、素直な分と対話が出来る。そんな空間・時間を私は神社に求めているような気がします。

「おもてなしの心」をホスピタリティマイブドと言つたりしますが、このホスピタリティを辞書でひとと、「親切なものなし、歓待、厚遇」と出ています。お迎えする際に、

思いやりや優しさの気持ちを持つて接する事が出来るというのが「おもてなしの心」です。

似た言葉に「サービス」がありますが、これを辞書でひとと、「奉仕、貢献、接待」とあります。実はこの語源は、ラテン語で、「奴隸・召使い」となります。よって、「サービス」は、主従の上下関係だと言われています。

一方、「おもてなしの心」は、お互いに得るものある対等な関係「主客同一」なのです。

しかし、時として相手の状況や気持によっては、食い違ってしまう。百人百様で、相手の要望、欲求などを把握していないと、残念な結果に終わってしまいます。だからこそ、お互に聞く・話すというコミュニケーションが大事です。そして、とにかく自分の気持ちの中に、「快(ホッコリとしたもの)」を残せるかが、「おもてなしの心」ではないでしょうか。たまたま散歩で神社に立ち寄つたら丁寧に会釈してくれた。「おはようございます」と挨拶してくれた。そうしたら気持ちがホッコリ温かくなつた。そのように思つて藏けた神社として、地域の方への極上の「おもてなし」だと思います。

今後、少子高齢化と高齢单身世帯の増加が進み、心の拠り所が求められます。その中で、

神社という身近な存在は、見守つてくれる在、祭りや災害など、何かあれば持ちつ持たれつの地域で、共に生きてゆく、共生の関係にある存在です。この共生という思想を江戸時代の「江戸しぐさ」という商家の上に立つ者の心得として、江戸町衆の生活から生まれた

知恵・生き方・考え方・感性で、見ても、されても、しても気持ちが良い、共生のコミュニケーションで学んでみたいと思います。

江戸しぐさで日頃気をつけたものに、まず「目つき」。目つきにも感謝の気持ちを現す「お

いそ目つき」。そして、「会釈のまなざし」。往来でさり気なく目で交わす挨拶。敵意が無く、敬う気持ちがあることを伝え合う。そして、見送る際の「後引きしきさ」。また会い

ない・足を運びたいと余韻を残す「しきさ」。それには、良い笑顔が大切です。

次は、「ものの言い方」。「戸締め言葉」という人の話や考え方を無視したり、頭がこなしに否定したりする言い方をしない。他人の話を

言葉で、一所懸命話しているのに、「それがどうした」と相手の話す意欲を失わせるような言葉。それとも「一つ手斧言葉」、荒削りをする手斧のような「うるさい」などの荒つぽい言葉。これらに言葉だけでは、神社に対する想いを伝えて言葉通りに丁寧な事。挨拶では、誰に対しても同格の丁寧な言葉を使います。山の木靈と同じで、自分の心構えや言葉遣い次第で、相手も応じるから注

意が肝心というのが戒めだつたそうです。

次は、「一身のこなし」と「聞く姿勢」です。興味を示して言葉や大きな聞きをする「相槌しぐさ」は相手を気持ち良く話し易くします。

最後に、クレームに発展させないためには、初期消火が大切です。一次クレームで、話は

が悪ければ、二次クレームという不満に発展します。クレームに発展させないためには、相手の話をしっかりと聞いて受け止め、日頃から信頼関係を築けば、譲り合つたり、折り合いが可能になります。

どんな話し方をしたら、こちらの要望を受け入れてもらい易いかという話し方とは、相手も大切にした自己表現です。例えば、「境内の美化にご協力下さい」とストレートに指図されたりするのは嫌いです。そこにはお願ひされるのは結構好きなのですが、そこまで主語を私にして、話し始めに言葉を和らげるクッション言葉を置いて、自分の気持ちを添えて、「境内の美化にご協力下さり有り難うございます」と相手も大切にした言い

方を工夫しながら、日頃のコミュニケーションの土台を築いて行かれたらと思います。

「クレームの予防と対策」

「自分の意思を正しく伝えるために」

(社)日本産業訓練協会研修部長主幹講師 府川亮一



クレームの予防と対策について、自分の意思を正しく伝えるための方法を考

える上で、参考になるものとして性格分析があります。気質診断方法の「エニアグラム」とは、診断テストで人間を九つの基本的な属性に分類し、客観的な自分の理解や相手の多様性を理解し、対人関係でも、性格のすれ違いを避け、相互理解や信頼関係を構築する事に役立ちます。

九つの気質

完全でありたい人(求道者)
人の助けになりたい人(博愛主義者)
成功を追い求める人(遂行者)
特別な存在でありたい人(芸術家)
知識を得て觀察する人(觀察者)

安全を求める慎重に行動する人(忠臣)

987 楽しさを求める計画する人（情熱家）
 強さを求める自己を追求する人（挑戦者）
 調和と平和を願う人（調停者）
 これら九つの性格も善し悪しはあります
 が、自分を取り巻く人が、どのタイプか
 把握しておくことで、その性格に合わせて言
 い方を変えないといけません。これは、クレ
 ム対応時にも活用効果があると思います。
 次に、人の問題の扱い方について、クレー
 ムがあつた時には、四つの段階で事実をつか
 む・よく考えて決める・処置をとる・あとを確
 かめる」を考えて下さい。

まずは、クレームによつては、すぐに回答
 の出来ないものもあります。そこで第一段階
 は「事実を掴む」です。あらゆる角度から事
 実を掴むという事です。それには今までのこ
 とを調べる、過去の事例・関係はどうだった
 かを調べることが重要です。どんな規則やな
 らしがあるか、ルールや習慣から逸脱して
 いるのかを確認し、関係ある人と話す事です。
 ここで大切な事は、切り分けることです。
 我々はその場で解決しようとして、上手くい
 かずにつじらせて、第二次クレームにしてしま
 います。先ずそこでは、「話を聞く。話を聞く
 という事は、相手に同意している事ではない
 ということです。話を聞いて、言い分や気持
 ちを掴む。そして本人の言い分・理由
 まで十分に理解して考えておく事です。
 まだ、ここでは解決策は語っていません。
 ここで大切なのは「傾聴」です。それが実
 事。相手の持つていない情報を知る事です。
 それである程度話しをしていくつて、最後に
 手が嘘を言つているとは誤解しない事です。
 大事な事は、しっかりと、なぜそう思われた
 事を謙虚に聞く事です。自分と相手の意見が
 違うのは、持つている情報が違うという事で
 す。相手の持つていない情報を知る事です。
 判断力が求められます。大切なのは「早合点
 する」です。

987 楽しさを求める計画する人（情熱家）
 強さを求める自己を追求する人（挑戦者）
 調和と平和を願う人（調停者）
 これら九つの性格も善し悪しはあります
 が、自分を取り巻く人が、どのタイプか
 把握しておくことで、その性格に合わせて言
 い方を変えないといけません。これは、クレ
 ム対応時にも活用効果があると思います。
 次に、人の問題の扱い方について、クレー
 ムがあつた時には、四つの段階で事実をつか
 む・よく考えて決める・処置をとる・あとを確
 かめる」を考えて下さい。

まずは、クレームによつては、すぐに回答
 の出来ないものもあります。そこで第一段階
 は「事実を掴む」です。あらゆる角度から事
 実を掴むという事です。それには今までのこ
 とを調べる、過去の事例・関係はどうだった
 かを調べることが重要です。どんな規則やな
 らしがあるか、ルールや習慣から逸脱して
 いるのかを確認し、関係ある人と話す事です。
 ここで大切な事は、切り分けることです。
 我々はその場で解決しようとして、上手くい
 かずにつじらせて、第二次クレームにしてしま
 います。先ずそこでは、「話を聞く。話を聞く
 という事は、相手に同意している事ではない
 ということです。話を聞いて、言い分や気持
 心を掴む。そして本人の言い分・理由
 まで十分に理解して考えておく事です。
 まだ、ここでは解決策は語っていません。
 ここで大切なのは「傾聴」です。それが実
 事。相手の持つていない情報を知る事です。
 判断力が求められます。大切なのは「早合点
 する」です。

第三段階は「処置をとる」です。処置をと
 るに当たっては、複数案の中から処置を決定
 し実行する事です。自分一人でやるか、誰か
 の手伝いがあるか、他の事例や前例の確認、
 共有化のためにも上部組織や関係者への連絡

は、心理学用語で「簡単化」といいますが、「あ
 なたのおつしやついる事はこういうことで
 よろしいですね」と簡略化して答えてあげる
 事です。これで相手も真剣に自分のいう事を
 聞いてくれたという気持ちになります。その次に、
 でも、まだ相手の言つている事に同意した
 訳ではありません。今度はこちらの結論（反
 論）をはつきりと、しかしなつて言います。
 次に理由を言います。この時に相手の持つ
 ない情報をしてかり話す事です。次に、まと
 めと返します。「私はこの様に思いますが貴
 方はどうお考えですかと相手に返す事です。
 すると相手は持つてない情報を手にいれた
 ので自分で考えなくてはならなくなります。
 そこで相手が歩み寄つて来るかどうかにな
 ります。情報の共存化によって論理が一致し
 ます。情報の共存化によって論理が一致し
 ます。人は納得しないことはしません。
 クレームに対しては安易に謝るという事は良
 くありません。丁寧によく聞きながらも時々
 簡単化をしてまとめることも効果的です。「い
 ききの全部をよく掴め」が肝心です。次に「早
 合点するな」と「話を独り占めにするな」は、
 本音はもつと別の深いところにあることがあります。
 これはクレーマーに多く見られます
 ので、しつかり聞く事が大切です。次は「話を
 ざえぎるな」と「これが相手が思つて
 をざえぎるな」と「話を独り占めにするな」は、
 言つた途端に相手は話を聞かなくなってしまいます。
 います。そして「よい聴き手になれ」です。
 実は、聞いてもらつただけで相手が満足する
 場合が多いのです。聞き方一つで大火災になつ
 ていることが多いのです。
 氏子さんだからと言つても神社の事をよく
 知つてはいるとは限りません。神社の常識が氏
 子さんの非常識に当たることやその逆もある
 かも知れません。これを日常のコミュニケーション
 では非消して頂きたいと思います。

なお、本研修会の詳しい内容について
 は、神社庁ホームページ内のサイト内検
 索で、「神社実務研修会」と入力してご
 質下さい。

一都七県神社連合会総会報告

大宮 宏和

関東地区女子神職研修会報告

玉川 恭子

「一月二十一日、栃木県日光市鬼怒川温泉『あさや』を会場に、一都七県神社連合会総会が開催された。開会式では、吉田茂穂神奈川県神社庁長より、日光二荒山神社参拝報告が行われた。その後、当番県の石原敬士柄木県神社庁長より挨拶があった。

議事は、まず、平成二十三年五月定例評議

員会における評議員提出決議案の処理結果が

報告された。次に、一都七県神社連合会提

出議案として、「神宮式年遷宮を奉祝し、国民總參宮と本庁包括下の神社における奉祝記念事業推進に関する件」が提出され、議長預かりとなつた。

意見発表では、茨城県からは、土岐美磨教化委員会情報広報部長より、第十回を数える「茨城の神社と祭り写真コンテスト」について報告が行われ、応募総数は多いときは五百点近くにも上るが、入賞者の重複や被写体に偏りが生じる等の問題点が挙げられた。

次に、千葉県から、代田健一教化委員会委員長より、「教員と兼任神職の経験と課題」について発表があつた。

次に、栃木県から、上野善則神社連理事より、神社や御守りの紹介等を載せた「鎮守の森新聞」の広報活動についての報告が行われた。

最後に、神奈川県から、小澤修一神社連理

事より、「インターネットを活用した、神社の業務効率化の試み」について発表があつた。
(神社連合会)



事より、「インターネットを活用した、神社の業務効率化の試み」について発表があつた。
(神社連合会)

成二十五年三月五日、武藏一宮氷川神社正式参拝後、大宮ラフォーレ清水園に於いて、女子神職五十名参加、永井治子全国女子神職協議会理事、竹本佳徳埼玉県神社連合会副庁長に御列席され、研修会が開催されました。

研修会として國學院大學教授 茂木貞純先生の「古事記」と「神道」と題した講演で、神々の祭りの伝統が確立してから古事記を纏める事が出来た。神道は仏教のように仏像・塔・きらびやかな建築物がないから、神々の世界から現在に至る道筋がないから、誰でも解る様に現在大事だったのだろう。人々の祈り、日本の原点をしっかりと見詰める大切さ。天皇が代わることに争いがあり、統制されなくなつた時、推古天皇が女帝として即位した事など教えられました。

研修会として岩澤知子麗澤大学准教授の「古事記」における「女性的なもの」と題した講演では、神話を解説すると言ふ事は、民族の深層心理を学ぶ事である。日々生々變化する我々の命のダイナミズム、これに大きなカタチを置く日本的思想、実はあるところと子宮の思想、女性的な思想への常なる回帰と結びついているのではないか。と教えられました。女は「海」だそうです。ウミ「海、生・産・ムス「生・産・息・結」、ヒ「日・陽・火・蓋」、ツミ「ケガレを祓い新しい命をウム・ムス」、所子宮、始原への回帰。私達女子神職は、ゆつたりとした心で、社務、家庭事をしなくてはと感じ実りある研修を終了しました。

神棚奉斎普及のための教化事業報告

鶴下清司

神棚を持たない家庭への神棚奉斎普及と神宮大麻増頒布を目指し、平成十八年度より「鳥居付おふだ立てプレゼント」をおこなってきました。

先ず、まつる心を育むことが大切であると、回答者に抽選でプレゼントするという試みでした。

二十一年度より二十三年度までのアンケート結果を班員で考察してみましたが、その結果を報告いたします。

各年度の回答者数は、四十代と六十代の男性と三十代の女性が他の年代と比較して高い数値を示しました。(グラフ①②)

この人たちが神社を訪れた理由は、男女共に厄祓いの年廻りの人、また、初宮詣、七五三詣等の子供や孫の祈願、または、氏子総代等の職務遂行等々が考えられます。ここで、特に高い数値を示した六十代男性と三十代女性に焦点をあて、各設問について考察してみたいと思います。

先ず、問1の伊勢神宮の遷宮についての設問です。

どの年度でも、知っていると答えた人は、六十代男性では半数以上の人でしたが、三十代女性では三分の一にも及びませんでした。

問2及び問3でも結果は大きく分かれます。

そこで、特に高い数値を示した六十代男性と三十代女性に焦点をあて、各設問について考察してみたいと思います。

先ず、問1の伊勢神宮の遷宮についての設問です。

どの年度でも、知っていると答えた人は、六十代男性では半数以上の人でしたが、三十代女性では三分の一にも及びませんでした。

六十代男性の人たちは、その経験値や情報量を考える時、単純に三十代女性の人たちと比較できませんが、伊勢神宮や遷宮についての認知度は高く、また、問6についても、持家率が多くなるのが理由でしょうか、おふだを祀る場所に神棚を選んでいる人が多いのが特徴です。

一方、三十代女性はおふだを祀る場所にリビングを選ぶ人が多く、明確な神棚を祀っていない家庭が多いようです。そこには、最近の住宅事情が大きいに影響していると考えられませんし、既婚・未婚によつても数字は大きく左右されるところもあります。

そんな違いの多い六十代男性と三十代女性の理由で、特に崇敬している神社に出向いたり、有名な神社でおふだを受けるというることはしています。そしてその合計は、地域の神社でおふだを受けるという値をかなり上回っています。特に三十代女性では顕著に現

す。神棚も祀っていないし、地域の神社も一割の人が知らない三十代女性と、半数以上の人が神棚を奉斎し、地域の神社もほとんどの人が知つてると答えた六十代男性。

六十代男性の人たちは、その経験値や情報量を考える時、単純に三十代女性の人たちと比較できませんが、それが現状です。

そこでご紹介したアンケートの集計結果は、年度や人数に関係なく、ほとんど同じよう

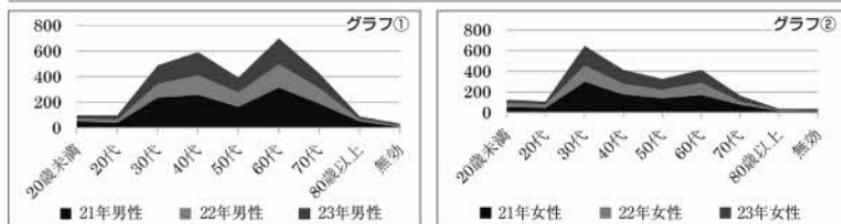
な回答傾向と数値を示しました。回答者は、プレゼント商品がお札立てということもあり、神社に対しては好意的な人たちはから、そのような結果を導いたのかも知れませんが、このことは、我々班員がたいへん興味深く感じたことのひとつでした。

このアンケートの回答者の中には、自分の地域の神社を知らない若い世代の人たちもたくさん見受けられます。各地域の神職の皆さん、ぜひその人たちへの手掛かりの一つとして、この「鳥居付おふだ立てプレゼント」を活用いただき、一人でも多くの人に、地元の神社の御神徳を振り撒いていただきたく思います。

教化活動の第一歩として、まず身近な一人に対し始めることが、これから神社界に必ず役立つことであると信じております。

(教化事業部家庭祭祀普及事業班長)

地域の神社で受けるのは、例祭や特別なお祭りの時、いわば近所のお付き合い程度の認識によるもので、自分の真剣な祈願のためのものは、特別に利益がうたわれている神社にわざわざでも参拝に行く傾向が強いように思われます。多くの中小企業が大企業に呑み込まれていく市場主義のような一抹の危しさを感じえませんが、それが現状です。



問1 遷宮があることを知っていた 遷宮があることを知らなかった



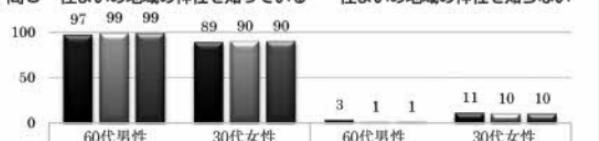
■ 21年度
■ 22年度
■ 23年度

問2 現在の住まいに神棚がある

現在の住まいに神棚がない

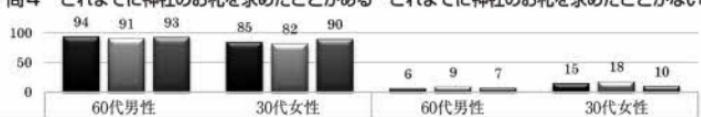


問3 住まいの地域の神社を知っている 住まいの地域の神社を知らない



■ 21年度
■ 22年度
■ 23年度

問4 これまでに神社のお札を求めたことがある これまでに神社のお札を求めたことがない



問5 地域の神社 特別に崇敬している神社 有名な神社 旅行先でお参りした その他



問6 玄関 居間・リビングルーム 自分の部屋 仕事場 神棚 その他



序務日誌抄

神社行院員会	於	大宮・水川・神社
武田録事出席	於	宮澤・膳所
情報部会	於	神社行院
神社行院研修会打合会	於	富津・主事出席
正副行長會	於	用越「水川会館」
神社行院員会	於	大宮・水川・神社
武田録事出席	於	浦和・埼玉会館
「神主さんと平和を祈ろう!」企画會議	於	高麗神社
富澤主事・武田録事出席	於	大宮・水川・神社
神政運営本部役員会	於	大宮・水川・神社
神社実務研修会	於	川越「水川会館」
八十四名又受講	於	川越「水川会館」
埼玉県教導会理事会	於	川越少年刑務所
前原參事出席	於	川越少年刑務所
第四回中堅研修研修(丁)	於	神宮道場
新嘉義・神社奉事連合会総会	於	神宮道場
一都七県神社連合会総会	於	神宮道場
中山山長他十二名出席	於	樹木「あさや日
創立百三十周年記念	於	國學院大學
神道文化学部創設十周年記念シンポジウム	於	神宮大廟
山長行院	於	國學院大學
白岡八幡神社総代研修会	於	神宮大廟
武田録事出席	於	白岡・八幡神社
教情部会	於	神社行院
神主さんと平和を祈ろう!	於	高麗神社
神宮大麻領布終了祭他諸会議	於	伊勢
中山山長・神田支部長・前原參事参列	於	伊勢
全国女子・神職協議会関東地区女子神職研修会第十六次受講	於	大宮・清水園
竹本副局長・武田録事出席	於	大宮・清水園
神政運営局対策研究会	於	大宮・清水園
神田(達)・宮本受講	於	民主党本部
一都七県中堅神職研修会第十七次(乙)	於	古峯神社
三名受講	於	古峯神社

第六十二回神宮式年遷宮 遷御の儀日時御治定について

天皇陛下には、第六十二回神宮式年遷宮の遷御の日時を御治定遊ばされた。

皇大神宮別宮荒祭宮

杵築祭 十月九日 午前八時

御戸祭 御船代奉納式 九月十九日 午前十時

御神樂御饌 九月二十六日 午前十時

御船代奉納式 九月二十七日 午後八時

洗清 心御柱奉建 九月二十八日 午前十時

御船代奉納式 九月二十九日 午前十時

御船代奉納式 九月三十日 午前十時

御船代奉納式 九月三十一日 午前十時

古物渡 御神樂御饌 九月三日 午後五時

御戸祭 九月十五日 午後二時

御船代奉納式 九月二十六日 午後二時

皇大神宮 遷御 平成二十五年十月二日 午後八時

杵築祭 十月十一日 午前九時

御戸祭 川原大祓 九月四日 午後四時

御船代奉納式 九月五日 正午

御船代奉納式 九月六日 午前六時

御船代奉納式 九月七日 午後二時

豊受大神宮 遷御 平成二十五年十月五日 午後八時

杵築祭 十月十二日 午前八時

御戸祭 大御饌 九月八日 午前八時

御船代奉納式 九月九日 午前十時

御船代奉納式 九月十日 午後八時

御船代奉納式 九月十一日 午前十時

平成二十五年十月五日 午後八時

杵築祭 十月十三日 午前八時

御戸祭 古物渡 九月九日 午前八時

御船代奉納式 九月十日 午前十時

御船代奉納式 九月十一日 午後八時

御船代奉納式 九月十二日 午前十時

また、杵築祭、後鎮祭、奉幣および内宮別宮荒祭宮、外宮別宮多賀宮の遷御などについてもお定めいたいた。御治定のあつた日時は次の通り。

御治定に伴い日時の決定した諸祭儀・行事は次の通り。

皇大神宮
杵築祭 後鎮祭 遷御 奉幣

十月一日 午前八時 午後八時 午前十時

御戸祭 御船代奉納式 洗清

川原大祓 御船代奉納式

御飾 午前七時

豊受大神宮
杵築祭 後鎮祭 遷御 奉幣

十月二日 午前八時 午後八時 午前十時

御戸祭 御船代奉納式 洗清

川原大祓 御船代奉納式

御飾 正午

十月三日 午前八時 午後八時 午前十時

心御柱奉建 御装束神宝読合 川原大祓 御船代奉納式

十月四日 午前八時 午後八時 午前十時

御戸祭 洗清 川原大祓 御船代奉納式

御飾 正午

十月五日 午前八時 午後八時 午前十時

心御柱奉建 御装束神宝読合 川原大祓 御船代奉納式

十月六日 午前八時 午後八時 午前十時

御戸祭 洗清 川原大祓 御船代奉納式

御飾 正午

十月七日 午前八時 午後八時 午前十時

御戸祭 洗清 川原大祓 御船代奉納式

十月八日 午前八時 午後八時 午前十時

御戸祭 洗清 川原大祓 御船代奉納式

御飾 正午

十月九日 午前八時 午後八時 午前十時

御戸祭 洗清 川原大祓 御船代奉納式

十月十日 午前八時 午後八時 午前十時

御戸祭 洗清 川原大祓 御船代奉納式

御飾 正午

十月十一日 午前八時 午後八時 午前十時

御戸祭 洗清 川原大祓 御船代奉納式

十月十二日 午前八時 午後八時 午前十時

御戸祭 洗清 川原大祓 御船代奉納式

御飾 正午

十月十三日 午前八時 午後八時 午前十時

御戸祭 洗清 川原大祓 御船代奉納式

十月十四日 午前八時 午後八時 午前十時

御戸祭 洗清 川原大祓 御船代奉納式

御飾 正午

第六十二回神宮式年遷宮記念 「神主さんと平和を祈ろう！」実施報告

高麗文康



三月三日、日高市の高麗神社で「神主さんと平和を祈ろう！」を開催した。この催しは、最終年度となる教化委員会のしめくくりとして、これまでの活動の総力を結集し、本年執行される第六十二回神宮式年遷宮の広報、及び、神社神道の教化活動を推進することに目的があった。

当日は多少風があったものの快晴となり、暖かな日差しが降り注ぐ同社には、多数の参加者が訪れ、境内は大変にぎわった。

参集殿2階（以下会場図参照）では、「展示コーナー」として「遷宮パネル展示」とミニ講座「伊勢神宮DVD放映」「神話カレンダー原画展」「神棚コンテスト優秀作品展」を行った。

「展示コーナー」の入場者数は、約四百名で、神社庁の教化活動の幅広さが来場者の関心を惹いていた。

この「展示コーナー」で開催した「ミニ講座」は、五回の開催で計二百名が聴講した。短くわかり易い解説は好評で、終了後は興味を持った聴講者から多くの質問も寄せられた。

客殿一階では、「自分だけの御守・勾玉ストラップ製作体験」と題して、お守り・勾玉で唯一、有料企画であったが、参加者が途切れることなく、楽しそうに製作していた。

トランプ製作教室では、この製作体験教室の参加希望が女性を中心に多く寄せられ、当人も参加者の多くが女性で、参加人数は百八十七名であった。

本催しの主題ともなっている「世界平和祈願祭」は、高麗神社職員の奉仕の元、午前と午後の二度、高麗神社本殿を通して、各氏神社の神宮式年遷宮の平和と第十六十二回神宮式年遷宮の完遂を祈願した。各コーナーや放送で参列を呼びかけ、参列者の代表にも玉串挙式をしていただいた。「世界平和祈願祭」への参列者は、二回で計百二十五名であった。

神楽殿では、雅楽演奏や巫女舞、

神話紙芝居を行った。

雅楽演奏は「越天楽」、巫女舞は「浦安の舞」をそれぞれ二回奉奏した。

一般の方にとって、日頃、目にすることが少ないためか、約百五十名が熱心に鑑賞をしていた。演奏者が、冒頭に解説を加えたことも好評であった。

また、神話紙芝居「天の岩戸・八岐大蛇」は、五十インチモニターを使用して、パワーポイントによる電子紙芝居を行った。神話紙芝居は三回実施し、約百九十名が鑑賞した。

特設舞台では、三郷市彦重（ひこえ）浅間神楽団が、神話神楽「八岐大蛇」を上演した。リアルな八岐大蛇は、すさまじい迫力で、登場すると観客は一様にどよめいていた。石見神楽という迫力のある神楽は、関東地方の人々にとって珍しくもあり、神楽団の完成された演技に多くの人々から賛辞が寄せられた。神話神楽は午前と午後の計二回上演され、観覧者は約三百五十名であった。

その他の企画としては、境内に、地元企業がテントを張り地元产品などを販売し、併せて、特別に伊勢から「赤福」に出演販売をしてもらった。赤福は四百八十箱準備されたが、午後一時は完売となる盛況ぶりであった。

当日は、会場神社である高麗神社が「高麗郡建郡一千三百周年記念事業」の一環として武道家俳優藤岡弘、氏による真剣「四方祓い奉納武」を同時開催した。藤岡氏は埼玉県神道青年会創立五十周年記念事業の講師として招聘をした縁があり、この催しの趣旨に賛同し出演が決まった。藤岡氏の演武が始まる頃には特設舞台の前に約五百人の人ばかりができた。藤岡氏は、前日から会場入りし、

当日も早朝から入念な準備の上、実際の「四方祓い」では、裂帛の氣合いと共に八本の俵を見事に斬り、会場の観客を圧倒していた。当日の総動員数は、約一千五百名であった。来場者の中には、一日境内で楽しんだ人もいれば、特定の催しやお目当ての物販売だけでも会場を後にする人もいただろ。しかしながら、日高市という知名度の低い場所に、埼玉県神社庁主催行事を契機に、多くの人々が集つた意味は大きい。更に、来場者には、司会者を通じて、繰り返し催しの意義や会場の案内が述べられ、人々の回遊に大きな力を發揮していたと思う。また、各会場の責任者も、会場の人々の動きを利用して、参加者を取り込んでいた。特に、「お守り・勾玉製作」→「世界平和祈願祭」→「展示コーナー」の流れしたものが、会場神社の状況に応じた対応が効を奏したものであろう。各場所の責任者が中心にスタッフが意欲的に取り組んだ成果である。天候にも恵まれたが、入念な準備と当日スタッフの迎える姿勢が大変際立つていたことを考へると、この度の目的は、ほぼ達成できたといえよう。

こうした企画は、県内外各社に根付かせることを狙つた「お宮と親子の集い」とは、開催意義も目的も異なり、いわば「過性の」「イベント」ではあるが、大規模な催事を通じて、県内神社が団結した姿を来場者に見せられたことは、新興宗教の専売特許と思われていたこの種の催しに、神社神道が取組み、それが神社神道の大きな可能性を示すものであつたことなど、成果は、けつして小さくない。この経験を糧に、新たな教化活動の取組を摸索すべきである。

(教化委員長)



遷宮ミニ講座



製作体験コーナー



世界平和祈願祭



雅楽演奏



巫女舞



神話紙芝居



神話神楽「八岐大蛇」



「赤福」出張販売



真剣「四方祓い」奉納演武